

## 令和元(2019)年度第2回多治見市生活支援体制整備推進会議議事録

日 時：令和2(2020)年2月13日(水)

10:00～11:45

場 所：多治見市役所 駅北庁舎4階会議室

出席：高木浩二会長、浅野みな子副会長、森内佐和子委員、竹内寛委員、橋本誠委員、林計男委員、林正勝委員、各務晴夫委員、若尾卓男委員、松村三千代委員、西迫静隆委員、渡辺光城委員、田中信次委員、唐木頼子委員、羽根田真理子委員、水野磨意子委員、松岡由佳子委員、宮崎詩織委員(代理 森節子)、棚瀬民依委員、今井光春委員(順不同)

欠席：なし

事務局：山崎課長、三宅リーダー

会長

この推進会議の皆様におかれましては、平成30年4月から令和2年3月31日までの2年間の任期でございます。本日の会議が任期最後の会議となりますので、みなさまの忌憚のない意見を承りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。開会にあたりまして、高齢福祉課長よりご挨拶を頂戴いたします。

高齢福祉課長

おはようございます。本日は大変お忙しいところ、出席いただきまして誠にありがとうございます。日頃は本市の福祉行政に多大なる協力をいただきまして誠にありがとうございます。地域で安心して暮らし続けるまちづくりには、地域での支え合いがとても大事になってきます。今年度はみなさまのご尽力の元、11月に「たじみ地域支え合いフォーラム」を開催することが出来ました。基調講演に加え、地域の社会資源の見える化を図る一環としまして、校区別社会資源マップの展示や、地域福祉協議会の生活支援活動のご紹介をしていただくなど、市民への啓発を図り、地域における生活支援事業について話し合い、生活していこうというきっかけづくりになったと思います。地域にはまだ課題があると思いますが、それぞれの地域で、話し合いながら解決していこうという中で生まれてくるつながりが大事と思っております。引き続き皆様と一緒に、地域における高齢者のニーズ及び地域資源の状況を把握しまして、日常生活上の多様な支援の充実につなげていけるよう、本日は活発な意見交換をお願いしまして、挨拶と代えさせていただきます。

会長

ありがとうございました。それでは次第に沿って進めさせていただきます。生活支援コーディネーターの活動報告並びに来年度の活動予定について、コーディネーターの森内より報告させていただきます。

SC

～資料に基づいて活動報告を説明～

1. 生活支援体制整備推進会議の開催
2. たじみ地域支え合いフォーラムの開催(アンケート結果の提示)
3. 第2層協議体において、地域の社会資源の把握、見える化の実施

ホームページへの掲載等については課題もあるため、ひとつずつ解決に努めます。

#### 4. 地域における生活支援事業の拡大

#### 5. 担い手の育成・発掘

#### 次年度の活動予定の説明

##### 地域つながりプロジェクト～昔遊び～

により、小学校の生徒と地域の高齢者とを昔の遊びを通じて、地域のつながり、見守り合う存在になることを目的として、地域の福祉課題を考える場をつくる。

委員

フォーラムでの講師の説明はとてもわかりやすく上手であった。私たちは、地域でデイサービス型の託老所として活動もしておりますが、スタッフが高齢となり、元気な人がスタッフとして参加して頂ければと思います。

委員

地域での生活支援の活動報告として、発表を基にひとつずつ積み重ねてきたなという思いがありました。また、資源マップの作成により、私たちの地域の問題点が見えてきた。私たちの団体もメンバーが高齢となり、増えていかない点から後継者不足となっています。今後どうやって繋いでいくかと課題となっています。

次年度の活動予定でも、私たちの地域でも以前に小学校と遊びをする場があったので、同じような内容であれば実施も可能かなと思います。今、団体に所属している以外の人ともつながる事が出来ると思います。

委員

フォーラムは大変勉強になりました。資源マップを展示してあったが、スタッフが説明していただけるとわかりやすかったと思います。70歳過ぎまで働いていて、そのあとにどのようにスタッフとして関わってもらおうか課題となっている。

委員

働き方改革で、退職が伸び、年金も年上げになると、シルバーとしても働き手が少なくなってしまう。高齢者がたくさんいる地域ではあるが、名古屋圏域で働いている方も多いため、なかなか人が集まらない。

委員

私の地域も、子育てサロンを実施していましたが、年代が変わり集まりが悪くなってきた。そこで以前にサロン通ってきたお母さんが、体調不良で、子供を代わりに迎えに行くことになりました。そういった若い層との付き合いを他にもつなげていくとさらに広がっていくと思っております。学校との関係としては、中学校の教頭先生が週一でお越しになる。校長もお越しになり、学校とは十分に連携があり、そのような機会を作っていくと学校との関わりは難しくなるのではと思う。いい意見があったら共有しながら盛り上げていきたいと思っております。

会長

ありがとうございます。今年度の報告、来年度の予定について説明していただきました。続いて、第2層協議体について、事務局から説明をお願いします。

事務局

～資料により説明～

今年度、第2層協議体での活動報告を各地域包括支援センターからいただいたものをまとめました。各地域から第2層協議体での活動状況を包括支援センター及び地域福祉協議会からお話を伺いたいと思っております。

委員

担当する地域では、25区の池田寿会へ地域情報の収集に参加し、マップの作成をきっかけに、地域の困り事のアンケートをしました。団体は高齢化して、役割を担えなくなってきている。課題解決も進めていければと思っております。

脇之島地域では脇之島地域福祉協議会の代表者会議に参加しております。この地域は生活支援サービスが活発に行われていて、この地域の情報を他の地域へ発信できればと考えております。

昭和地域は資源マップ作りをきっかけに、福祉委員会議に関わりました。今後も第2層協議体の発足に向けて検討してまいります。

委員

養正地域福祉協議会で毎月運営会議に参加しました。ボランティア育成として講師として関わりました。移動手段の確保という事でアンケート実施されたので、結果をもとにどのような手段が良いか検討していきたいと思っております。

滝呂地域では、第2層協議体としては定まっていない地域であり、校区全域での催し物が来年にあり、地域住民が企画・運営し、近隣同士で趣味活動の展示やフリーマーケットなど区長を中心に開催され、その流れを第2層協議体に結び付けていきたいと思っております。

委員

区長や福祉委員が参加する福祉委員会議に参加して、30区の地域の中で高齢になっても住みやすい地域にするために、困りごとのアンケート調査をしました。また、人財育成事業のラジオ体操に参加されているかたにも同様のアンケート調査を実施しました。一番困っているのは、買い物でした。この校区はコンビニしかなく、スーパーへの移動手段に困っていることが分かりました。可児市に近い方は、多治見よりも可児市に行きたいとの意見もありました。住民の集いの場も情報収集でき参考になりました。

根本地域では根本校区地域福祉協議会に参加いたしました。地域資源をマップに落としてみると、大変多くあり、知らない場所もまだあるのではと思っております。生活支援サービスについて、介護保険を使用するまえの状態の人であれば、根本のサービスを提供できればと思っております。

委員

笠原地域は笠原地域力のAAK会議に参加しました。老後の不安を語る会に参加し、その場での意見を参考にし、今後は年に2回開催していくと聞いております。この地域の生活支援情報をまとめたものを、ひとり暮らしの方に配布しようと活動しております。笠原地域福祉協議会にも参加しており、アンケートの情報を基に草取りとゴミ出しが困っているという事で、来年度から支援を実施するにあたり、ボランティア募集をしております。

市之倉地域では市之倉地域福祉協議会に参加して、現在実施している助け合いサポーターの活動についての確認や、ゴミ捨てや配食も実施をしようと思っております。資源の一覧についても追加等が無い意見いただきました。

委員

精華地域では、人財育成事業の中で、資源マップの作成を行いました。地域によって支援の温度差もあると知る事が出来ました。来月、区長及び福祉委員長を集って各区の現状と課題についてと来年に向けた情報交換をコーディネーターの協力で実施する予定です。今後第2層協議体に結びつけたいと思っております。

共栄地域では共栄地域福祉協議会に参加して、マップ作りを機に現状の困りごとなどを確認することが出来ました。ある地域では、ボランティアを実施していきたいと

の声があり、緩和型のサービスや住民主体のサービスに結び付けられればと思っており、市の準備ができ次第実施出来ればとの声がありました。ライフサポーター育成講座を受講し、家事支援をしたいとの声が出てまいりました。包括はそれを支援させていただければと思っております。

委員

北栄地域では北栄地域福祉協議会に参加して、地域からお店が無くなってきていることやバス路線が無くなってきていることで、買い物代行の支援が始まりました。実施しながら適宜見直ししながら進めるところに来ております。この地域は子どもとのつながりを重要視されていて、地域の子どものように見ている視線が地域全体に繋がっていかねばと思っております。

小泉地域では、次年度に地域福祉協議会が設立することになり、地域でアンケートを実施して、その中で包括支援センターも加わり関係性を気付いていければと思っております。

委員

共栄3区で買い物タクシーの運営をしております。利用人数も徐々に増えてきており、アンケートによって路線変更も考えております。健康麻雀クラブを開催したら、男性の参加者が増えました。学童保育とシルバー人材センターと協力で学童保育支援補助支援作業を実施していき、それを地域社協の有償ボランティアで学童保育に行かせようと考えております。北栄地区にも協力をお願いしております。人材も限度があるのでボランティアを発掘しながら今後も地域社協の活発化を進めていきたいと思っております。

委員

私たちの地域では大きな動きはありませんが、生田地域で交通が不便であり、アンケートを実施しました。結果によって、あいのりタクシーなど考えていきたいと思っております。養正地域はサロンに力を入れており、1ヶ所では利用者が増えてきており、倍近くなりました。今後もサロンに力を入れていきたいと思っております。まちづくり委員会と協賛で花植えなど頑張っております。

委員

笠原地域では保育園や幼稚園で昔の遊びを多悠連との協力で既に行っている。現在は祖父母のいない家庭が多く、竹馬などをして、喜ばれている。

委員

北栄地域では当初はサロンを中心に力を入れてきましたが、校区の中でサロンが安定してきましたので、生活支援を進めていき、その中で、高齢者が免許返納に伴い困っていることは買い物であるとの声を聞き、要望があったことをすぐにやろうと思いを進めています。また、毎週オープンカフェを実施しているが、大変多くの方を呼ぶことができるようになってきている。その中から何か手伝えることをしたいとの声も上がってきている。

この地域は高齢者の独居が多く、孤立死がある。今後は独居の方の情報を共有していきたいと思っております。あいのりタクシーについても市議員を通じて話があり、今後の課題として進んでまいります。多くの人たちと情報を共有しながらできることから進んでいこうと思っております。

委員

市之倉地域では大きな前進はありませんが、地域福祉協議会で活発な活動をしております。路線バスも無くなり、行政はあいのりタクシーを進めてきている。生活支援体制を進めていく中で、他の問題が出てきた。

【あいのりタクシーについて他地域と情報共有】

今後、あいのりタクシーを実施するかさらに検討していきたいと思えます。

滝呂地域の「おつかいや」について聞きたいが、活動内容は市之倉地域福祉協議会の活動をほぼ賄っているが、利用者はあるのか。

委員  
委員

ゴミ捨てなどの助け事をしていただいています。

移送支援では、バローと生協には無料で送迎をしている。その他の店舗には有料で実施している。移送支援は7年間で無事故である。毎年教習所で運転手は講習を受けさせている。そのような運転手の力で支えられている。

後継者を作るために、運営委員には毎年2名を追加できるように実施できている。この地域は小学校が1校しかなく、今までは見守りながら育てる学校であったが、これからは住民が入って子供を育てようという形になっている。学校運営協議会に参加して、校庭の草むしりなどを住民が行っている。子供は宝であると思っている。この地域を育ててくれると思っております。

たじみ地域支え合いフォーラムでの講師は大変内容が良かった。支え合い、地域の付き合いが重要と思え、脇之島地区でも3月21日にお呼びし、地域住民に聞いてもらいたいと自治会に相談し、了解を得て講演会をしてもらう準備ができた。社協の意見を基に、この地域でできることを考えようとしている。

委員

生活支援を始めて、1年超経つが、意外と少なかったのが、買い物代行であった。ゴミ出しの件で問題があったのが、当初は依頼者の近くの人をお願いしようとしていたが、利用者から近くの人には捨ててもらいたくないとあった。

以前、根本地域にはお出かけバスがあったが、いまとなるとまだあればよかったと思っている。あいのりタクシーの運営を地域福祉協議が行うには難しいと認識している。太多線が使える地域なのでまだ良いかなと思っている。

会長  
事務局

ありがとうございます。高齢福祉からの報告を事務局から説明をお願いします。

高齢福祉課からの報告

1. 多治見市高齢者保健福祉計画が4年度から実施されますが、今年度ニーズ調査、次年度は計画策定を進めていきます。この会議の場で計画の進行状況等を報告するにあたり、次年度は会議を3回予定しております。

2. 今年度で皆さんの任期が終了となります。次年度以降の委員の推薦等のご協力をお願いいたします。

3. ライフサポーター育成講座を3月に実施します。各団体等に案内を送付させていただきましたので、ご興味のある方が見えたら是非勧めていただければと思います。

会長

今回は新しい委員での顔合わせになると思いますが、推薦等の依頼もさせていただきますのでご協力お願いいたします。以上をもちまして生活支援体制整備推進会議を終了いたします。